

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (小寺三木三)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	----------------------	----	----------------

事業種目	雪崩対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 1.4 億円
		雪崩対策事業 <small>うみがみ</small> <海上地区>	美方郡温泉町 <small>うみがみ</small> 海上		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
美方郡温泉町海上				H14年度	H16年度
事業目的			事業内容		
防災対策 雪崩危険箇所であり、雪崩による危険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の人命を保護する。			雪崩対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 250.0 m H = 5.0 m		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> ・雪崩危険箇所である。 ・保全人家24戸、公民館、町道(海上河合谷線)がある。 ・積雪量が多く、斜面と人家が密接しており危険性が高い <ul style="list-style-type: none"> ・山村部の豊かな山並みは、地域の豊かな景観を構成するもので保全効果は高い。 ・雪崩の発生を防止し、ゆとりある快適な生活を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・当地区は、豪雪地帯特別措置法における豪雪地帯に指定されており冬季には常に集落雪崩の危険性が存在する。 ・地元の防災意識は高く、事業化への要望が強い。 			
快適性・ゆとり					
その他					
(2)有効性・効率性 有効性 効率性					
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> ・擁壁工を斜面下に採用し、自然斜面を既存のまま残すことにより自然環境を保全する。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> ・保全人家が多く、公民館、町道があり事業効果が高い。 ・積雪量が多く、斜面と人家が密接しており危険性が高い為、早急な対策が必要である。 ・地元要望が強く、事業執行体制は整っている。 			
評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。		